

秋田大学

平成29年度 地(知)の拠点整備事業統一アンケート  
集計結果報告 教員・職員・自治体編

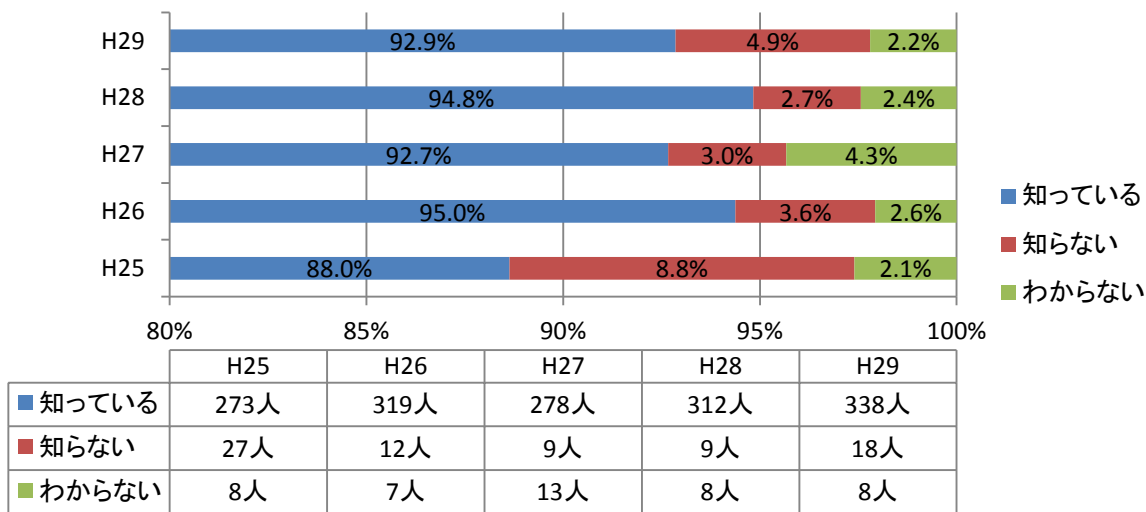
\* 実施年月 平成30年4月

\* 実施対象等

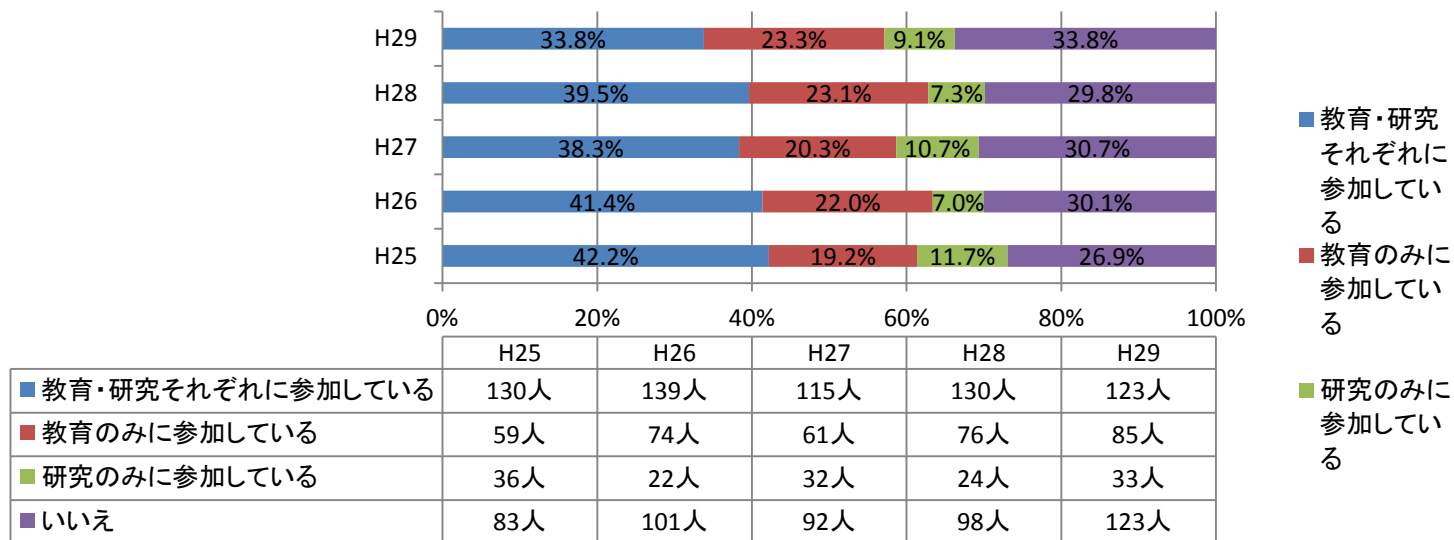
実施対象	対象数	回答数	回収率				
			H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
教員	554名	364名	65.7%	57.5%	52.0%	69.5%	63.1%
職員	376名	337名	89.6%	84.3%	76.9%	90.1%	85.2%
自治体 (4自治体)	14名	14名	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	95.6%

# 教員

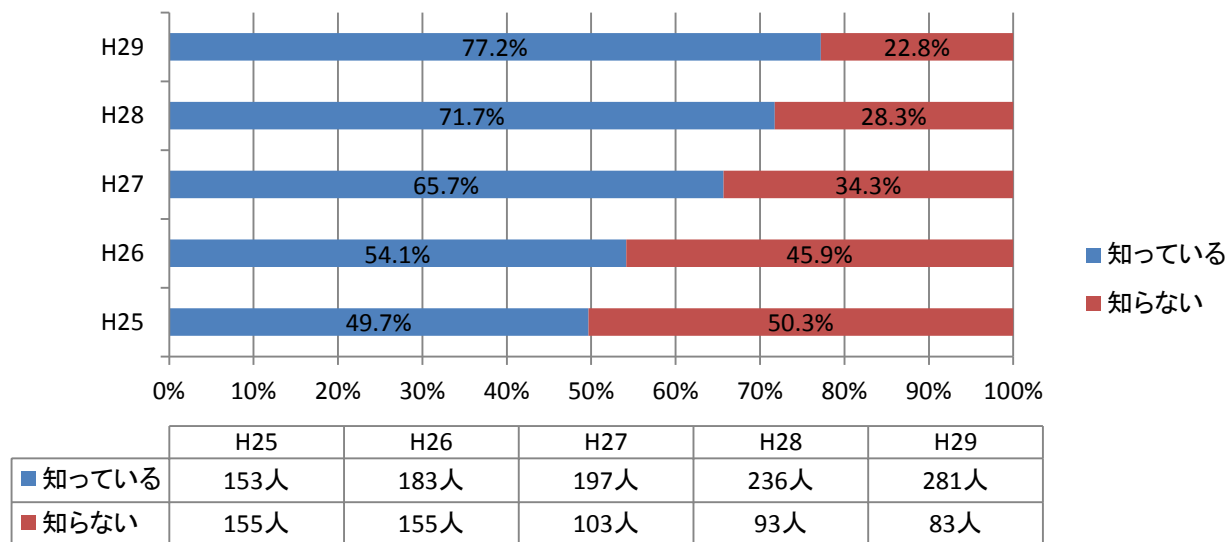
1. 秋田大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



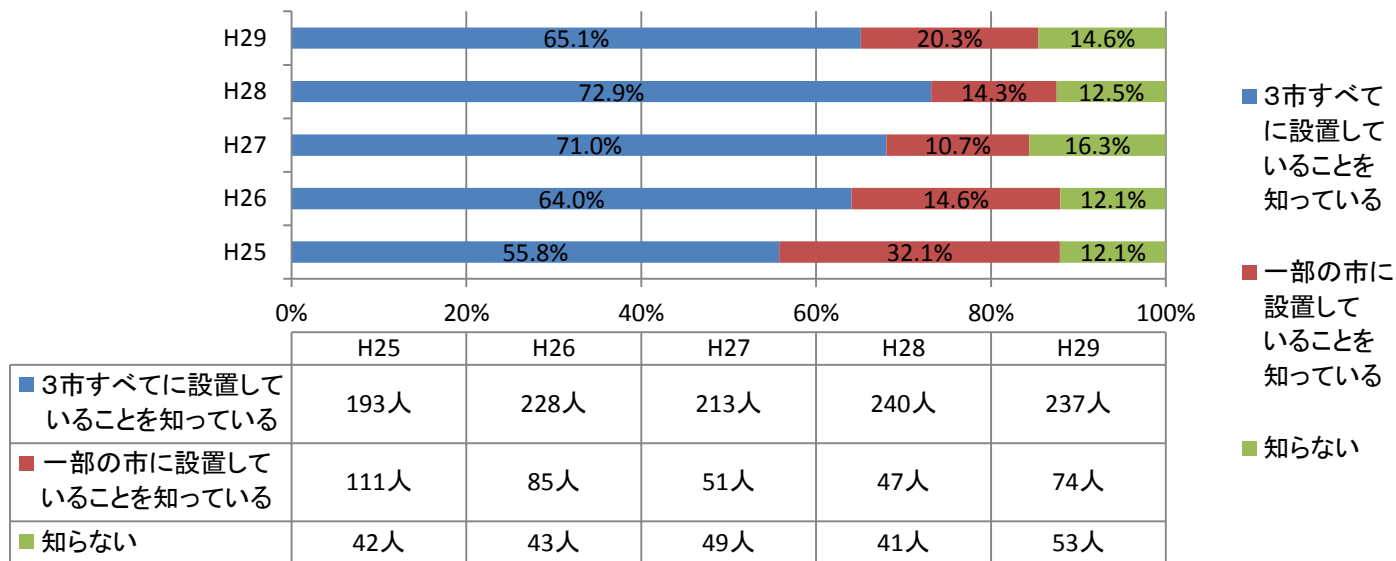
2. 「地域のための大学」の教員として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。



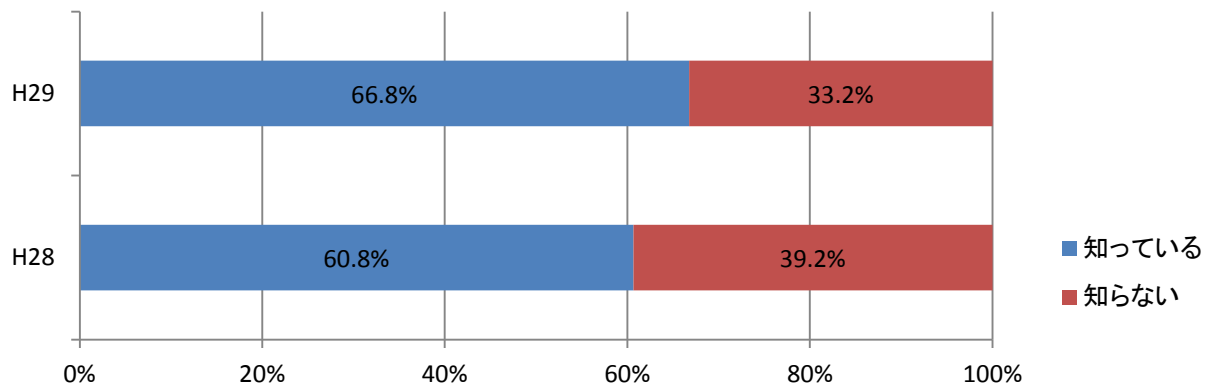
3. 平成25年度文部科学省の新規重点事業「地(知)の拠点整備事業」に秋田大学が選定されたことを知っていますか。



4. 秋田大学が、横手市、北秋田市及び男鹿市に分校を設置していることを知っていますか。

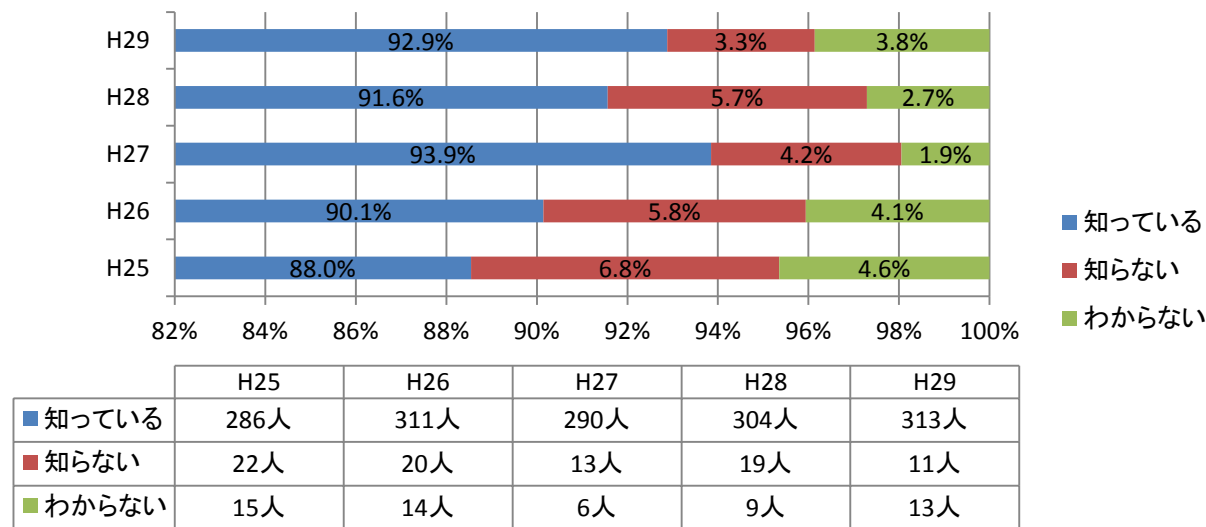


5. COC+採択を受け、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積に取り組んでいること知っていますか。

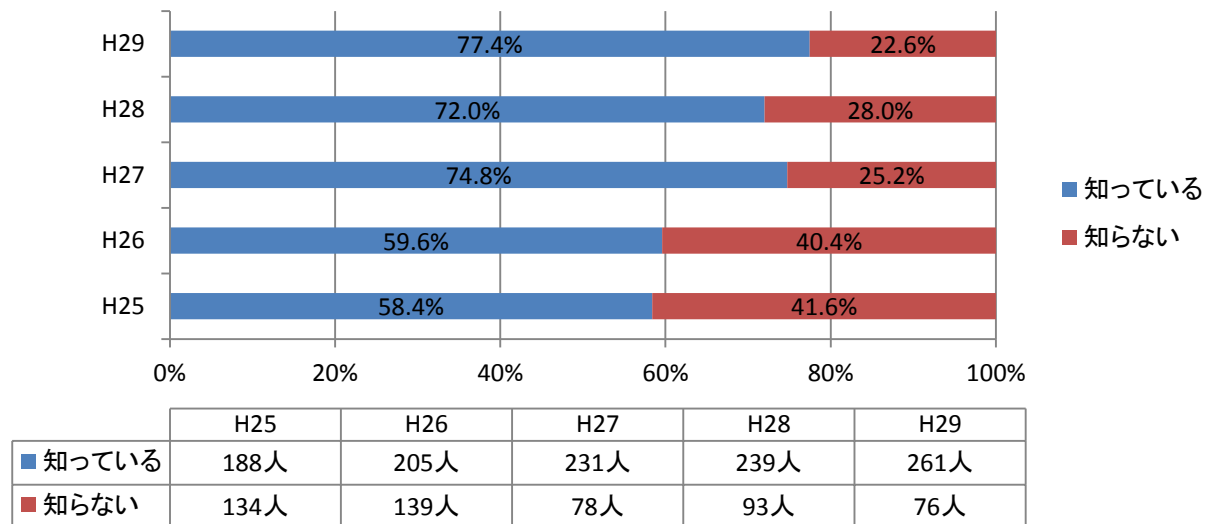


	H28	H29
■ 知っている	199人	243人
■ 知らない	129人	121人

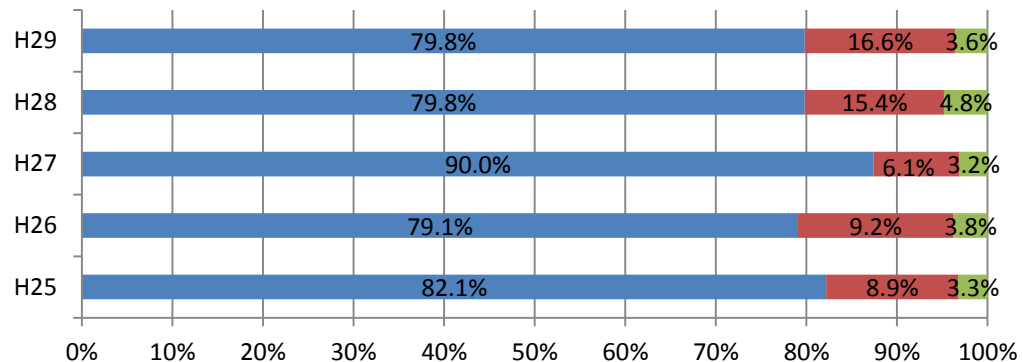
1. 秋田大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



2. 平成25年度文部科学省の新規重点事業「地(知)の拠点整備事業」に秋田大学が選定されたことを知っていますか。



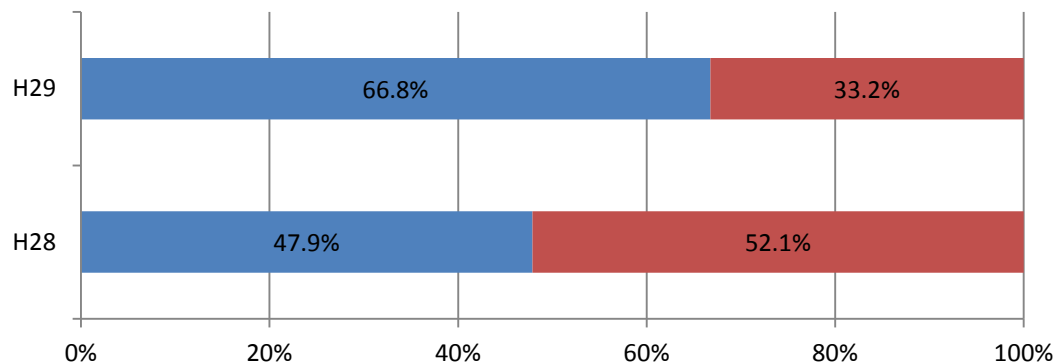
3. 秋田大学が、横手市、北秋田市及び男鹿市に分校を設置していることを知っていますか。



- 3市すべてに設置していることを知っている
- 一部の市に設置していることを知っている。
- 知らない

	H25	H26	H27	H28	H29
■ 3市すべてに設置していることを知っている	277人	291人	278人	265人	269人
■ 一部の市に設置していることを知っている。	49人	63人	30人	51人	56人
■ 知らない	11人	14人	10人	16人	12人

4. COC+採択を受け、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積に取り組んでいること知っていますか。

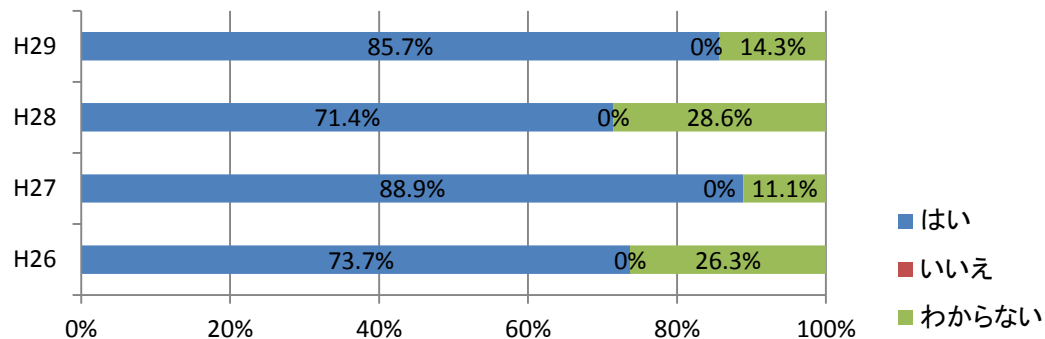


- 知っている
- 知らない

	H28	H29
■ 知っている	159人	225人
■ 知らない	173人	112人

# 自治体

1. 秋田大学の取組は、副申した事業計画どおりに進捗していると思いますか。



	H26	H27	H28	H29
■ はい	14人	16人	10人	12人
■ いいえ	0人	0人	0人	0人
■ わからない	5人	2人	4人	2人

## 【はい】

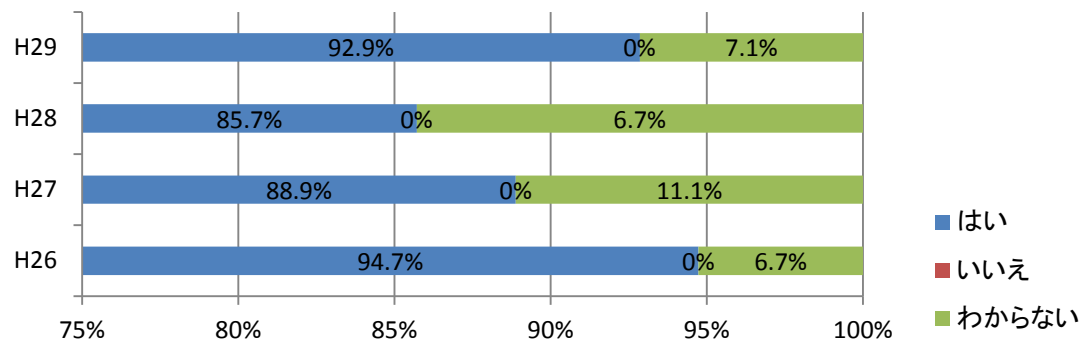
- ・三者協議会で計画を確認し合いながら進めている。
- ・2月の報告会を聞かせていただいて、事業の進捗を理解することができた。
- ・当初計画からは若干内容変更となったが、概ね計画どおりに進捗したと思う。
- ・防災意識の向上や地域の自主的な活動に繋がっている。
- ・取組は事業計画どおり着実に進められたと考える。5年間の事業の成果を踏まえ、より深化した取組を期待する。
- ・年度別事業計画や平成29年度の取組計画に基づき、事業が進められている。
- ・地域の課題に対して、提案がなされている。
- ・年度事業計画どおりに事業が進められている。
- ・事業計画どおり進捗しているものと思われる。
- ・ほぼ計画どおり実施されている。
- ・平成29年度事業の実施状況から、進捗していると思う。
- ・北秋田市が抱える課題等を分析し立てられた計画に対し、各々の分野における実績は十分なものであった。

## 【わからない】

- ・進捗状況について定量的に把握することが出来ないため、良否を判断することは困難である。
- ・成果発表会に出席することができなかった。自治体関係者、一般参加者からの評価も確認したい。



## 2. 秋田大学の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。

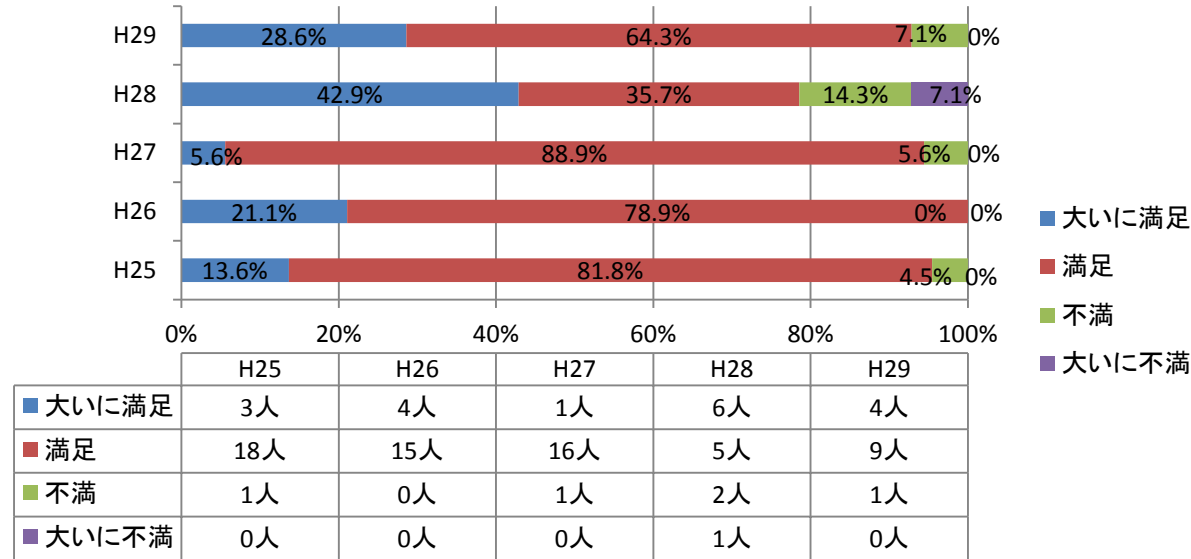


	H26	H27	H28	H29
■ はい	18人	16人	12人	13人
■ いいえ	0人	0人	0人	0人
■ わからない	1人	2人	2人	1人

### 【はい】

- ・担当者間で詳細な打合せをしながら進めている。
- ・お互いの協力のもと、有益な事業展開ができていた。
- ・本市では、防災教育と廃校になった小学校跡地を活用した施設を中心とした地域活動であったが円滑な連携のもと実施されたと思う。
- ・事前の打ち合わせから成果発表まで、円滑に行われている。
- ・地域課題の発見から解決のための取組まで、住民や地域活動団体、行政等多様なステークホルダーと連携を図りながら円滑に取組が進められた。
- ・地元自治体や県地域振興局など地域の関係者との協議や意見交換が行われている。
- ・県のほか、複数の市町村と連携し、調査・研究活動を行っている。
- ・連携する市町村及び県が各年度の事業企画に参画した。
- ・各市の課題に着目し、幅広い階層、職種が連携していると思う。
- ・阿仁地区、北秋田市、秋田大学の三者が連携し事業が行われていると思う。
- ・事業計画に基づいた連絡調整を含め、円滑に進められた。

### 3. 当該大学の取組は「地域のための大学」として満足するものですか。



#### 【大いに満足】

- ・3年に渡る調査結果から、住民ニーズを把握し山内地域住民の訪問看護や在宅医療に対する普及啓発が図られたと思う。
- ・実態調査、意見交換等において、地域住民や医療・福祉関係者の協議・交流が図られている。
- ・研究、教育、地域貢献という地域大学の責務を十分に果たしている。
- ・地域課題の解決に役立っている。

#### 【満足】

- ・地域が抱える課題を学生も一緒に考えてもらった。行政に対して施策の提言などあれば、更に良いと思う。
- ・COC事業は29年度で終了となるが、本市施設で実施されるCOCプラス事業に期待している。
- ・地域資源の活用や地域課題の解決のための取組を通じて、地域への理解や地域との繋がりが深まった。
- ・地域住民のニーズに対応する形で取り組まれており、今後の地域活性化に繋がる事業である。
- ・地域の看護人材の育成及び在宅医療に関する啓発など、秋田県内の課題にマッチした取組であると考えられる。
- ・地域ニーズに合致した取組である。／・地域資源を有効活用した取組に満足している。
- ・地域住民参画のもと、各種事業に取り組み、地(知)の拠点大学としての役割を十分に果たしており、満足するものである。

#### 【不満】

- ・学生のカリキュラムのための取組にとどまっているのではないかと感じる。地域課題の具体的な解決に繋がるような取組や成果を切に期待する。